

令和4年7月19日

久世中学校  
生徒の皆さんへ

深夜の大雨警報の発令により本日を臨時休業とし、1学期終業式は、明日から県総体が続くこともあり、中止せざるを得なくなりました。そこで、皆さんに式でお伝えしたかったことを以下に載せますので、ぜひ読んでください。

### 【 メッセージ 】

時が経つのは速く、1学期も本日、終業の日を迎えました。今年の梅雨は観測史上最短で明けましたが、未だ明けてくれないのが、第7波の兆しも見られているコロナ禍です。「コロナ」疲れということもあるでしょうが、用心しながらできることを工夫して地道に頑張ってきた今学期であったように思います。他方、学校外では様々なことが起こりました。振り返って、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナへの侵攻は、過去の歴史の悲劇を繰り返す愚かな行為が、今の時代に現実のものとして起こるのかと憤慨し、同時に、「平和」という「有り難さ・尊さ」を改めて気付かされ、深く考えさせられます。また、国内では、前内閣総理大臣が選挙の街頭演説中に銃撃、殺害されるというテロ行為が発生し、世界に衝撃が走りました。いずれも、暴力で現状を変えようとする行為は、あってはならない、絶対に許されないことであり、このような野蛮極まりない行為によって、解決に至ったり、新たに前に進むことができる何かを生み出したりすることなど、全くないことなど、歴史が既に証明しています。

少し先の話になりますが、皆さんが、社会人になるころには、AI によって、現在ある仕事のおよそ半数近くがなくなり、全く新しい職業が生まれると言われていています。そこでは、これまでの社会が経験したことのない未知の課題に遭遇し、自分たち自身の力で、納得できる最適な解決策を探さなくてはなりません。これまでに覚えたことや言われたことを、単にそのままコピーするのでは通用せず、自分で考え、学んだことをいろいろと組み合わせ、応用し、新たなものを生み出し、乗り越えていかななくてはならない時代がやって来ると言われています。

やがて、未来を担う皆さんには、そういう時代を切り拓いていく様々な力が求められています。それと同時に、時代がたとえどのように変わろうとも、変わらない大切なものがあります。例えば、「あいさつをする」ことや「時間を守る」ことです。「あいさつをしない人」、「時間を守らない人」は、人間関係の構築はなかなか進みません。これは、まさに、皆さんの生徒会がスローガンとして掲げている「凡事徹底」そのものです。今学期も、地域の方々が目にされた皆さんの「善い行い」に感心されたことや逆に耳の痛い注意も寄せられました。皆さんの姿が地域から関心を持たれていることは、とても有り難いことです。今学期の自分自身の振る舞いは、どうであったか、今一度、振り返ってみることも大事で、確かな成長へのステップです。

明日から夏休みに入ります。今年の夏をどんな夏に描くのかは、皆さん次第の自己コントロールにつきます。そこで、皆さんに三つお願いをします。まず一つ目は、夏休みの目標をできるだけ具体的な言葉・文字にして「見える化」してください。途中で修正するのもOKです。これは、目標の進捗を自己管理するためです。二つ目は、「自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の判断で行動する」経験をしてください。身近な小さなことへのチャレンジでOKです。これは、「自律」への確かな歩みを進めるためです。三つ目は、過ごした夏の日々を折々に振り返ってみてください。反省ばかりでもOKです。これは、「新たな出発」のためです。

英語に、「No pain. No gain.」という言葉があります。「苦勞なければ、得るものなし」という意味です。確かに、楽ばかりして得られるものに、それほどの価値はありません。

最後に約束をお願いします。「ケガも事故もなく、感染防止・熱中症対策をし、来たる2学期を心身共にリフレッシュして、元気に迎える」ということです。

それでは皆さん、どうか有意義な夏休みを過ごしてください。

校長 丸山 敬三